

ご挨拶

第 35 回早大 OC 大会実行委員長

柳沢稜

大会の企画が持ち上がってから早 2 年、O-NEWS での予告どおり深良財産区で大会を開催できたことにまずは安堵しています。参加者の方々からは白いテレインや地元の方々のもてなしに満足したという声が多く寄せられ、大会を開催してよかったと改めて思います。

しかし一方で運営に関しては甘さやミスが目立ちました。中には地図と現地のコントロール番号が異なるなど、致命的なものもありました。大会を楽しみにしていた参加者の期待を裏切ることになってしまい、申し訳ない気持ちでいっぱいです。詳しくは報告内で述べさせていただきます。

「オリエンテーリングの大会を開催する」ことの大変さは多くの方がご存知だと思いますが、今回運営者として携わるなかで、特にメンバーが減少しているクラブが大会を開催するにあたって直面する多くの問題点について考えさせられました。先ほど述べたミスは運営者の落ち度であり釈明の余地は全く無いのですが、その原因の一つには 1 人 1 人にかかる負荷が大きくなり、場合によっては特定の人に過度な負荷がかかることが挙げられます。後輩がこれからも「大会を開きたい」といってくれるように、さらに早大 OC 大会が皆様にとって価値のある大会であり続けるために、そして他のクラブが同じようなミスを犯さないために、この報告書を活用していただければ幸いです。

最後になりますが、大会開催にあたって数多くの助言と手助けをしていただいた深良支所長の倉澤様、炊き出し等で大会を盛り上げてくださった区長会・婦人会の方々、最後まで協力してくれたクラブ員全員に感謝しつつ、筆を置かせていただきます。